

2013 年 5 月 22 日

**大塚製薬工場、フレゼニウス カービ ジャパン社と
新承認薬ボルベンを含む HES 製剤に関する
日本における独占販売契約を締結**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:大塚一郎、以下「大塚製薬工場」と、フレゼニウス カービ ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、社長:フェリックス・ファウペル、以下「FKジャパン」)は、2013年5月21日、FKジャパンが日本に導入する新規ヒドロキシエチルデンプン製剤(HES製剤)の「ボルベン輸液6%」(2013年3月25日承認)と、現在FKジャパンが販売している「サリンヘス輸液6%」「ヘスパンダー輸液」の日本における独占販売契約を締結いたしました。

大塚製薬工場は、本契約に基づき、FK ジャパンが製造販売承認を保有する「サリンヘス輸液 6%」「ヘスパンダー輸液」に加え、新たに製造販売承認を取得した「ボルベン輸液 6%」を販売します。大塚製薬工場は、約 350 名の臨床栄養専門 MR を通じ、流通、販売、安全性情報の伝達・収集を行い、日本国内での HES 製剤の更なる普及を目指します。

ヒドロキシエチルデンプン製剤(HES 製剤)と「ボルベン輸液 6%」について

ヒドロキシエチルデンプン(HES)製剤はトウモロコシデンプンの一種であるアミロペクチンが原料です。HES は、グルコース分子が水酸化することにより、 α -アミラーゼによる代謝を受けにくくなり、その結果、長時間血中に留まり長時間の血漿増量効果を示します。現在、日本で市販されている HES 製剤は、FK ジャパンが販売中で、HES の分子量が 70kDa である「サリンヘス輸液 6%」「ヘスパンダー輸液」の 2 製剤のみであり、出血時の代用血漿として主に手術室や救急領域で使用されています。「ボルベン輸液 6%」は、HES の分子量が 130kDa であり、効能・効果は「循環血液量の維持」です。用法・用量における上限投与量が 50mL/kg となり、先行 2 製剤に比べ、高用量投与が可能になりました。本剤は、海外においては、1999 年ドイツで初めて承認されました。

会社概要

フレゼニウス カービ ジャパン株式会社

設 立 : 2007 年 3 月
資 本 金 : 76,500 万円
代 表 者 : 社長 フェリックス・ファウペル
本社所在地 : 〒140-0001 東京都品川区北品川四丁目 7 番 35 号
従 業 員 数 : 非公開
事 業 内 容 : 慢性疾患患者、および重症患者の治療のための医薬品、医療機器
の輸入、販売
U R L : <http://www.fresenius-kabi.co.jp/>

株式会社大塚製薬工場

設 立 : 1921 年 9 月 1 日
資 本 金 : 8,000 万円
代 表 者 : 代表取締役社長 大塚一郎(おおつか いちろう)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,365 名 (2013 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 医薬品、栄養製品の製造・販売
U R L : <http://www.otsukakj.jp/>